

校歌

紫匂う武蔵国原
涯なき大野の広きを心に
此処に集えり吾等集えり
ますらおの眉高くあげて
質実剛健輝く校風
日体 日体 日体
燦たる母校

望めば清し富士の神山
ゆるがぬ巖の固きを心に
此処に鍛えり吾等鍛えり
黒がねの腕固く組みて
団結和協輝く校風
日体 日体 日体
燦たる母校

寮歌

1. 仰げ土佐山巍峨として
吾が日体の学寮は
星霜ここに百有余
武士どもが夢の跡
2. 御代は昭和の新天地
自治敬虔の旗あげて
かざすしるしの桜花
色あせ果てぬ花の色
3. 虚栄の夢に他人は酔う
ねむれる魂を醒まさんと
世に先がけて獅子吼する
世紀の叫びここに聞け
4. 努力の歴史輝きて
今隆盛の時は来ぬ
祝え千余の健男子
吾等が前途に光あり

新寮歌

1. 黎明つくる大太鼓
桜並木や花吹雪
ここ武蔵野の深沢に
心枝の泉汲みかわす
我等が日体学生寮
2. 遙かにのぞむ富士が嶺を
我が青春のシンボルと
心をみがき体を錬り
夜人生を語りては
共に歩みし春や秋
3. 夕陽に映ゆる学び舎の
窓に微笑む友のかけ
誠愛和協団結に
ここぞ若人意気たかし
吾等が日体学生寮
4. 雄叫び絶えぬ伝統の
きびしき学び幾とせぞ
朝な夕なの鍛錬に
無限の可能もとめゆく
吾等が日体学生寮